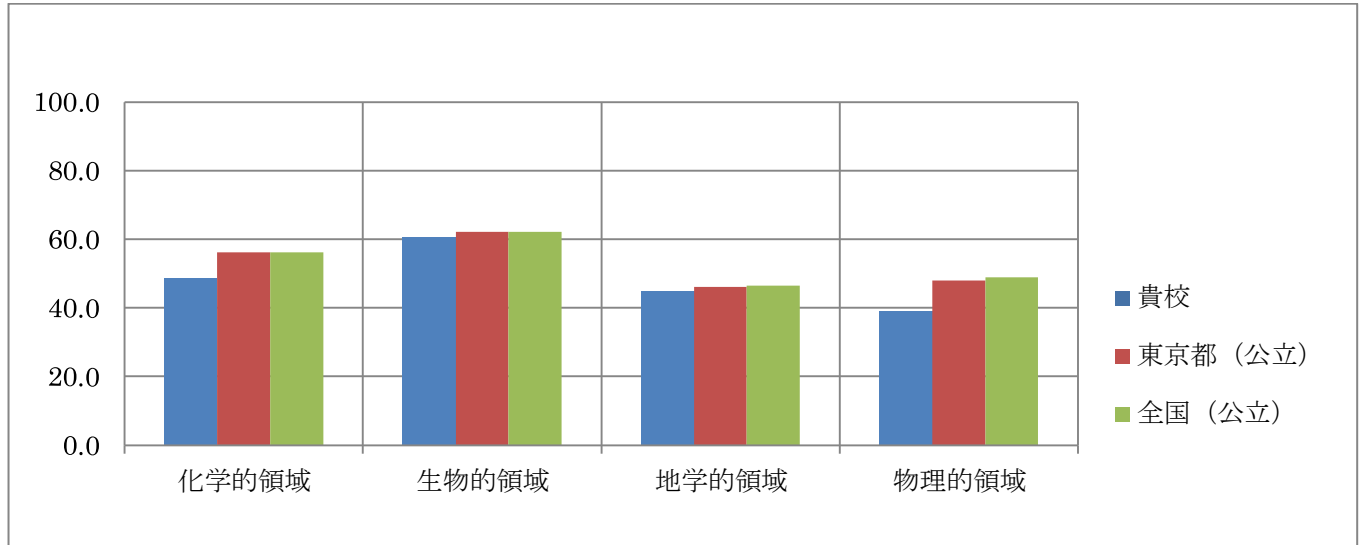


## 1. 分類ごとの平均正答率

## (1) 理科



- ①全項目において、東京都・全国の平均正答率を下回っている。  
 ②特に、化学・物理領域において理解が不十分である。

## 2. 調査問題から見た問題

## (1) 化学的領域

- ①原子の記号、化学式の暗記が不十分であった。  
 ②実験方法の知識・理解が不十分であった。

## (2) 生物的領域

- ①実験結果に対する考察が不十分であった。  
 ②消化酵素の理解が不十分であった。

## (3) 地学的領域

- ①露点の理解が不十分であった。  
 ②天気・天気図に関してよく理解できていた。

## (4) 物理的領域

- ①無回答率が高かった。  
 ②磁界の知識・理解が不十分であった。

## 3. 指導改善のポイント

## (1) 化学的領域

- ①授業の中で原子の記号や、化学式を思い出させる場面を増やしていく。  
 ②対照実験や実験器具を使う理由など実験後のまとめを丁寧に行い理解させる。

## (2) 生物的領域

- ①レポートから適切な考察と課題を見いだせるような指導の工夫をしていく。  
 ②写真や動画を見せ理解を深めさせる。  
 ③レポート課題から必要な情報を読み取る練習をしていく。

## (3) 地学的領域

- ①日常生活における具体的な事象を取り上げながら説明できるようにしていく。  
 ②用語を理解し具体的な場面で活用できるようにする。

## (4) 物理的領域

- ①具体的な事象を取り上げ、グラフ数値の変化から関連させ理解を深めさせる。  
 ②1・2年の内容の復習に定期的に取り組みせながら進める。